

一致協力！ローカル線を未来へ！

みんなで線路をつなげよう！全国各地より熱い仲間が結集



鳥塚前社長と古竹社長との対談。鳥塚社長からは古竹社長へのねぎらいとともに、地域一体で引き続き支えてほしいという話がありました。古竹社長も「駅に賑わいを作っていきたい」など、今後の抱負などを述べられました。

2022年12月10(土)～11(日)日、「第1回ローカル鉄道サポーターズサミット」が行われ、各地よりローカル鉄道を盛り上げるべく日々奮闘する約100名が、いすみ市に結集しました。コロナ禍の影響で延期を重ねたなか、満を持しての開催。いすみ鉄道応援団幹事のもと、各地の活動の現状や課題を共有するなど、活発な議論が交わされました。



翌日はいすみ鉄道応援団の活動を視察。定期運行を終えたキハ28も登場し、車内でも熱い想いのやり取りが、閉会後まで続きました。



参加は「只見線つなげ隊」(只見線)、「にしがま線応援団」(名鉄西尾・蒲郡線)、「南九州鉄道プロジェクト」(指宿枕崎線)、そしていすみ鉄道応援団の各団体。さらに個人や自治体、議員の参加も多く、関心の高さが伝わってきました。質疑応答では「個人でもできる効果的な活動はないか」との質問に対し、只見線の呑み鉄列車の例を挙げ、継続して行うことが影響力を持つなど、即行動へつなげられるアドバイスも共有できました。

サミット終了後の懇親会、そして翌日のいすみ鉄道応援団の活動視察まで活発な議論が途切れることなく、ローカル線から地域を盛り上げていこう、今回未参加の各地の仲間とも連携していこうという、「みんなで線路をつなげよう」の想いに満ちた2日間でした。



いすみ鉄道沿線でも見かける自販機。各地にも置いてみませんか——。売上の一部がいすみ鉄道の収入となり、具体的な応援という体験をおとした、気運の醸成にもつながります。

詳しくは「いすみ鉄道 自販機」で検索ください。